



## トライエスプログラム®

株式会社オリエンタル観光 本社営業所

## 2026年 4月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 宮田 雅史

## 1.実施概要

- 開催日 : 2026年 4月21日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 20時20分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 16名/16名 (参加率:100.0% : 別紙参加者リスト参照)
- 法定12項目 :
- 教育区分 : **安全** 環境 労務 **その他** (乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項 )

## 2.目標と進捗

## ■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

## ■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者フォロー含む)	【出席率】 4月度MTG出席率：16/16人 欠席者：無し 【対応方法】 ・ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ミーティング当日の参加状況と管理 ・ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・参加状況の整理 (声かけや周知) ・欠席者フォロー体制の構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	・2024年4月度分より走行管理表の記入開始 ・車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2026年1月度記入率】提出率：100% ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：93.3%、コメント：100%
	課題	・走行管理表の記入・提出率100% ・運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	・全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ミーティング出席率 ・ボトムアップとフィードバック	

### 3.乗務員ミーティング

#### ■ 議題テーマ：「自責と他責、社員意見・要望等」

- ① 走行管理表の記入状況
- ② 燃費推移確認
- ③ 事故推移・事故共有
- ④ 前回の復習（交差点での危険・自転車追越しの間隔と注意）
- ⑤ 今回のポイント（自責と他責）
- ⑥ 法定教育項目④乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項
- ⑦ 社員意見・要望等

#### ■ 今回のポイント

- ・ 自責で捉えることで学べることも多く、失敗してしまった時に自責で考えることが次への改善に繋がりステップアップ出来る
- ・ 事故を起こした場合の影響などを認識し、安全運転を心がけることで他の運転者の模範となる

**交通安全で考えてみよう**

例：右直事故

右折側(加害者)	
自責	直進者優先なのに無理してしまった。
他責	相手がスピード出し過ぎているから。見えているなら止まってくればよかったのに。
直進側(被害者)	
自責	スピードが出過ぎていたかもしれない。もっと早く気付けば避けることはできたかも。
他責	直進優先なのに曲がってきたのが悪い。曲がるスピードが遅い。

自責思考・他責思考どちらが再び事故を起こしそうですか？

ANZEN KYOKU SLIDE

項目4  
乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項

乗車中の乗客の安全確保

①「急」の付く運転はしない

①急  
②転倒

※急発進、急減速、急ハンドルなど、「急」の付く運転は、乗客に負担がかかる

※特に、路線バスなどの立っている乗客には大きな負担となり、怪我を招く

※発車・停車時には、明らかに減速を行い、ゆとりある運転を心がける

キキー!!!

ASUA Co., Ltd. All rights reserved.

#### ■ 参加者コメント（抜粋）

- ・ 4月より自転車で逆走してくる人が少なくなったように感じる。傘さし運転も少なくなった。
  - ・ 被害事故であっても、警察の事故処理など色々時間や手間もかかるので起こしたくない。
  - ・ 交通事故で過失が0という場合は少ないので、過失が発生している以上どちらにも非があると思う。
  - ・ お寺巡りの仕事はお寺の場所も把握していないといけないし、細い道が多いので難易度が高い。
  - ・ 新入生も最近見かけるので、特に小学生など飛び出しに注意しゆっくり走行するようにする。
- 【法定項目について】
- ・ 車内で人が立って乗るケースは無いが、転倒事故が多いのは急発進時に多いと思う。
  - ・ 停車するときなどもなるべく乗っている乗客が不快にならないようにゆっくり止まることを意識している。

#### ■ 所見

今回は自責と他責についてお伝えさせていただきました。映像も活用しながら急な飛び出しや相手に非がある場合でも、事故になれば被害が多くなる場合があります。仕方ないで済ませるのではなく、予測をしながら減速など回避行動をいかにとれるかが大切になってきますので事故を防ぐためにも自責で物事を捉えて欲しい旨お伝えさせていただきました。

## 4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2026年 4月21日(火) 2026年 4月21日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 14時30分 16時30分 ~ 17時00分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「自責と他責、社員意見・要望等」

- ① ミーティング出席 欠席者フォローについて
- ② 走行管理表の状況
- ③ 事故推移
- ④ DR映像について 車間距離確保状況
- ⑤ 活動2年目の目標
- ⑥ 今月の強化項目の設定

### ■ 議事録

No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	・ミーティング出席：16人/16人（100%） ※別紙、出席リストを参照ください ・欠席者フォロー：無し
②	走行管理表の状況	【2026年3月度記入率】提出率：100% ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：93.3%、コメント：100% ⇒目標燃費はMTG内で次月の目標をドライバーと設定する
③	事故推移	・活動1年目（2025.3～ミーティング現在）事故総数7件 車両事故7件、その他事故0件 ※昨年同月対比7件減少 ・3月度：事故無し、4月度：車両事故2件（ミーティング時点） ・昨年同月対比：車両事故1件増加
④	DR映像について 車間距離確保状況	・次月ミーティングまでに全ドライバーの車間距離の確保状況に ついて、ドライブレコーダー映像を確認してもら ⇒気になるものについてはミーティングにて共有 ・ミーティング内にて、DR映像を活用する（担当：野村さん）
⑤	活動2年目の目標	・車両事故5件以下、追突事故0件を目標数値とし事故防止への 取組を継続していく ⇒年3回の車両などを活用した、実地（実技）の実施予定 ・教育計画スケジュールに基づき活動を進めていく
⑥	今月の強化項目の設定	・毎月、強化項目を設定し点呼時、定期的に確認を実施する 5月度強化項目：交差点青信号でも気を抜かない 具体的行動：交差点手前からブレーキに足を置いておく

### ■ 所見

活動2年目として、DRを活用した教育やヒヤリハットの収集と教育、社員意見・要望等なども含め教育計画に基づき進めていきたいと考えております。また、車両事故としては減少傾向にありますがDRの常時録画なども定期的  
にチェックしながら良い運転や事故リスクを含む運転が無いかなどチェックをお願いいたします。

